

断

五年

【画数】11
【筆順】半米 断 断
【オ】ダン
【ク】たひつ・ことわりる

成り立ち

糸がばらばらになった形を表した「断」と、「斧」の形を表した「斤」とを組み合わせて作った字です。

昔は、今のように、はさみやナイフのようなものはありませんでしたが、どの家にも「斧」だけは必ずありました。この斧が大きな木を切ることから、糸を切ることまで使われたのです。

断は、「糸をばらばらに」「たち切る」ことを表した字です。「きつぱりと」「たつ」という意味に使われます。

【例断絶、断念、断食。

「はつきりと」「決める」という意味にも使われます。

【例断定、英断。

また、「拒絶する（ことわる）」という意味にも使われます。【例断る、無断。

使い方

▽ぼくはサッカーの選手になりましたが、足がおそいで断念しました。
▽無断で学校を休んではいけません。

熟語例

▽断絶（切れて絶えること。また、たち切つて、やめてしまうこと。「国際紛争で、国交が断絶する」などというふうに、つかいます。）
▽断念（思いを断つこと。あきらめること。）
▽断食（食物を断つこと。ある期間、食物を食べないこと。「太りすぎでこまって、断食してみることにした」などというふうに、つかいます。）

▽断定（きつぱりと決めること。「つかまった男は、犯人と断定された」などというふうに、つかいます。）

▽英断（思いきりよく決めること。また、決めたことを、ほめること。「君主の英断をたたえる」などというふうに、つかいます。）

▽無断（断らずに、何かすること。）

▽判断（あれこれ考えて、決めること。「判断を間違えて、失敗してしまった」などというふうに、つかいます。）

築

五年

【画数】16
【筆順】竹 筑 筑 筑 筑
【オ】チク
【ク】きざりく

成り立ち

「竹で打ち鳴らす楽器」の「筑（ツク）」が楽器の形を表しています。と、「木」とを組み合わせて作った字です。筑をうち鳴らすように、木で地面を「つき鳴らす」とを表した字です。

家を建てる時、その土地を固めるために、地面を木でついで回りました。この「地固め」のことを、「木でつく」ので「木づく」と言いました。「築」は「木づく」ことを表した字です。

「土台を作る」ことですが、「家を建てる」ためにすることですから、「家を建てる」ことの意味に使われるようになりしました。

家を建てる時、その土地を固めるために、地面を木でついで回りました。この「地固め」のことを、「木でつく」ので「木づく」と言いました。「築」は「木づく」ことを表した字です。

使い方

▽ぼくの家は古くなったので、こんど改築することになりました。五年前に増築した勉強部屋は、そのままにしておいて、あとは全部こわして建てかえるそうです。

熟語例

▽京都市には古い建築がたくさんあります。歴史が古いので、古い建築が多いのです。日本ばかりでなく、世界中から、こういった建築を見に来る人があります。

▽建築（建物。また、「建物を建てる」こと。）

▽構築（組み立てて築くこと。「じょうぶな家を構築した」などというふうに、つかいます。）

▽改築（建物を建てなおすこと。）

▽増築（建物を建て増しすること。「家がせまくなったので、二部屋増築することにした」など、つかいます。）

▽新築（建物を、新しく建てること。「わたしたちはこんど、新築の家へ引越すことになりました」などというふうに、つかいます。）

▽築城（お城を築くこと。「加藤清正は築城の名人だった」などというふうに、つかいます。）

熟語例

▽ぼくの家は古くなったので、こんど改築することになりました。五年前に増築した勉強部屋は、そのままにしておいて、あとは全部こわして建てかえるそうです。

▽京都市には古い建築がたくさんあります。歴史が古いので、古い建築が多いのです。日本ばかりでなく、世界中から、こういった建築を見に来る人があります。

▽建築（建物。また、「建物を建てる」こと。）

▽構築（組み立てて築くこと。「じょうぶな家を構築した」などというふうに、つかいます。）

▽改築（建物を建てなおすこと。）

▽増築（建物を建て増しすること。「家がせまくなったので、二部屋増築することにした」など、つかいます。）

▽新築（建物を、新しく建てること。「わたしたちはこんど、新築の家へ引越すことになりました」などというふうに、つかいます。）